

【2019年8月現在の暫定資料（予定）】

*時間の詳細等は、今後変更される可能性があります。

日本学術会議協力学術研究団体

全国大学音楽教育学会

National Association of College Music Education

2020年 第36回 全国大会 《奈良大会》

大会テーマ「これからの音楽教育のゆくえ」

会場 ◆ 奈良春日野国際フォーラム 麓 奈良市春日野町 101 (奈良公園内)

*期間中、会場への交通手段として、近鉄奈良と JR 奈良駅より奈良交通の路線バスを増便していただく見通しです。

日程 ◆ 2020年8月27日(木)～29日(土)

- ・8月27日(木) 常任理事会、理事会、紀要編集委員会、理事会情報交換会
- ・8月28日(金) 10:00～10:30 開会式
- 10:30～12:00 基調講演 講師・梶田 叡一 氏 (桃山学院教育大学学長)
- 13:30～15:30 研究発表
- 15:40～17:10 特別講演 (ワークショップ形式): 「ポリフォニーで鍛える合唱指導」(仮題)
講師: 寺尾 正 氏 (本学会関西地区学会会員、大阪教育大学名誉教授)
モデル演奏: アンサンブルダッフォディル
- 18:30～20:30 情報交換会
- ・8月29日(土) 9:15～10:30 パネルディスカッション
- 10:40～11:20 雅楽公演: 舞楽「蘭陵王」 演奏: 南都楽所
- 11:20～11:35 閉会式

●基調講演講師・梶田 叡一 氏: 略歴



京都大学文学部哲学科を卒業。文学博士。国立教育研究所主任研究官、日本女子大助教授、大阪大学教授、京都大学教授・京都ノートルダム女子大学学長・兵庫教育大学学長などを経て、現在桃山学院教育大学学長。この間、中央教育審議会副会長・初等中等教育分科会長・教育課程部会長等を務める。

著書 「自己意識の心理学」「意識としての自己」「和魂ルネッサンス」「真の個性教育とは」「人間教育のために」「不千斎ハビアン」の思想」ほか

●雅楽公演: 南都楽所 (春日舞楽)



飛鳥・白鳳から奈良時代にかけて、古代朝鮮半島の新羅・百済・高句麗及び、中国やシルクロードを経てインド・東南アジアなどのアジア各地から伝えられ、我が国において大成されて、のちに日本でつくられたものも含む音楽・舞踊の総称が「雅楽」である。この雅楽が天平文化の華として奈良時代に盛んに行われたことは、東大寺大仏開眼供養会(天平勝宝4年(752)4月9日)の記録や正倉院に保存されている楽器・楽面などの遺品によってもうかがえる。

舞楽開花の地である奈良では、大和の年中行事の最後を飾る『春日若宮おん祭』をはじめ、春日大社・南都七大夫などの社寺の雅楽奉仕によって今日まで伝えられ、無形文化財として「公益社団法人 南都楽所」が「春日舞楽」の伝統を継承している。また、国内のみならず、アジアや欧米各国でも精力的に公演活動が続ける。 ※「舞楽」は、舞を伴う「雅楽」である。

主催 ◆ 全国大学音楽教育学会 主管 ◆ 全国大学音楽教育学会関西地区学会 大会事務局 ◆ 大阪青山大学 永井 正幸